

# 徳島県係留 施設検討会

第3回 令和8年1月26日



1. 「規制・予防措置」の取り組み状況
2. 「係留施設の確保」に関する  
前回までの検討概要
3. 係留施設の整備方針について

# 1. 「規制・予防措置」の取り組み状況

「規制・予防措置強化」の一環として「放置艇・合同パトロール」を実施  
⇒ 県南部(R7.9.1) に引き続き、「県中央部・北部」においても合同パトロールを実施  
「県中央部（ケンチョピア）」、「県北部（瀬戸町明神周辺 他）」合同パトロール

## 【趣 旨】

- ・ 船舶所有者の責任意識の醸成
  - ・ 地域の課題とする県民への啓発
  - ・ 新たな放置艇発生防止
- を目的とし合同パトロールを実施

## 【①実施箇所・日時】

- ・ 県中央部：令和7年12月19日（金）  
（ケンチョピア）
- ・ 県北部：令和7年12月24日（水）  
（撫養港 瀬戸町明神周辺、明神川、瀬戸漁港 堂浦地区）

## 【③参加機関】

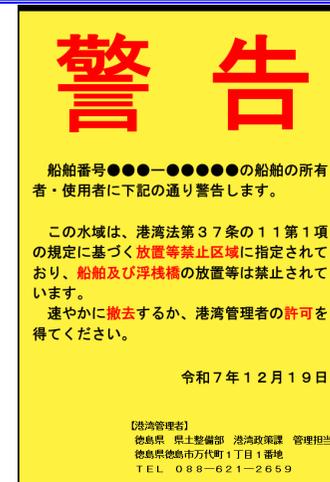
- ・ 国土交通省 ・ 海上保安庁
- ・ 徳島県警察 ・ 徳島県 ・ 関係漁協

## 【④実施内容】

- ・ 陸域からのパトロール実施
- ・ 「警告文」の貼付及び「口頭指導」
- ・ 放置艇の記録（写真、船舶番号 など）
- ・ 「啓発チラシ」の配布



啓発チラシ



警告文



実施状況（ケンチョピア）



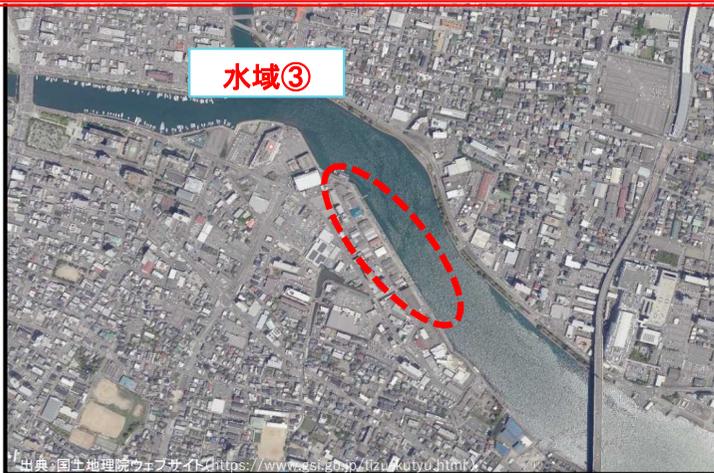
実施状況（県北部）

- ・ 放置艇の情報について「警察」、「海上保安庁」と情報を共有
- ・ 放置艇、不法設置栈橋に警告文にて指導

“今後も継続的に実施予定”

# 2. 「係留施設の確保」に関する前回までの検討概要

## 第2回検討会での検討内容 (R7.11.6)



- 水域①：沖州マリンターミナル前
- 水域②：津田第2水面貯木場跡
- 水域③：万代中央埠頭水域

	【放置艇対策】としての係留施設		【にぎわいづくり】のための係留施設
	水域①：沖洲マリンターミナル前	水域②：津田第2水面貯木場跡	水域③：万代中央埠頭水域
1. 静穏度	平常時は問題なし 荒天時には係留困難	良好な静穏度を確保	荒天時には係留困難
2. 水深	1.0～7.0m	2.0～3.0m	3.0～6.0m
3. 背後地	周辺の賑わい施設や開発との連携 マリンターミナルの有効活用	賑わい施設無し 駐車場有り	ウォーカブルな空間づくりや 水辺の倉庫群賑わい施設と連携
4. 収容可能隻数	想定船舶諸元(L=9m B=3.1m 水深2.2m) 最大400隻程度	想定船舶諸元(L=9m B=3.1m 水深2.2m) 最大約300隻程度	想定船舶諸元(L=9m B=3.1m 水深2.2m) 約20～100隻
5. 整備条件	港湾計画変更手続きが必要 外郭施設整備が必要	静穏度が確保され背後地もあるため 短期間で整備可能	港湾計画に施設を位置づけ、 民間の開発を後押しする
6. メリット	収容可能隻数が多く、 係留施設の箇所として有利	収容可能隻数が多く、 係留施設の箇所として有利、 短期間で整備可能	背後地賑わい施設の発展に寄与 ビクターパース等に有利
7. デメリット	防波堤整備が必要のため 整備に時間がかかる	埋立予定地のため 恒久的な利用は不可	市街地に近く、 防災の観点より常時係留は不可
委員からの意見等	・「恒久的な係留施設」の整備に 適している	・早期にケチホピアの船舶を移動するには 「暫定的な係留施設」が必要で、 津田第2水面貯木場跡が適している ・暫定であるが一定の施設整備が必要	・まちづくりと連携した「ビクターパース」 が適している ・にぎわいと連携できるパースになるには 設備の充実が必要

【その他】  
委員からの意見等

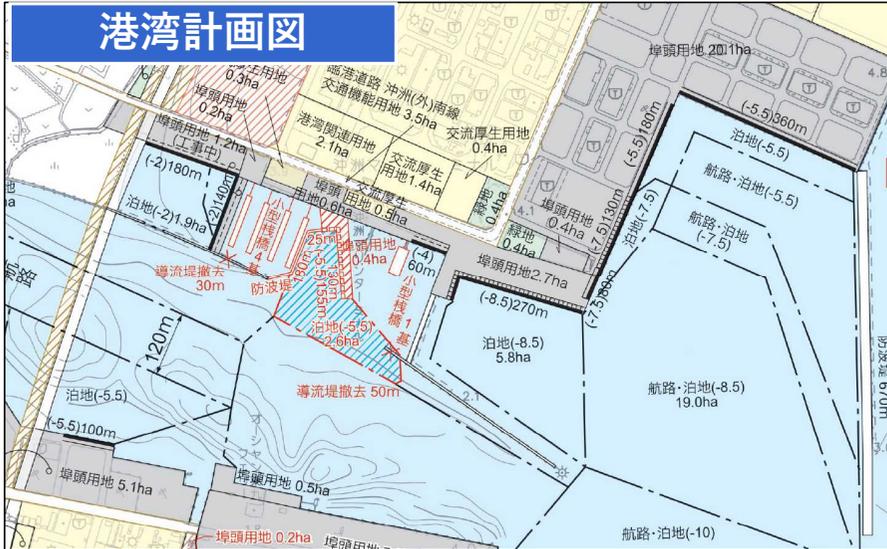
- ・係留施設については盗難対策、監視カメラなどが必要
- ・放置艇対策と賑わいづくりを融合させ総合的に港をつくる必要がある
- ・スーパーヨットの使い方も意識した検討が必要では 等

# 3. 係留施設の整備方針について

## 各候補地における整備方針



# 3-1. 「沖洲マリンターミナル」の整備方針（案）



## 整備方針

### ●「恒久的な係留施設」として整備

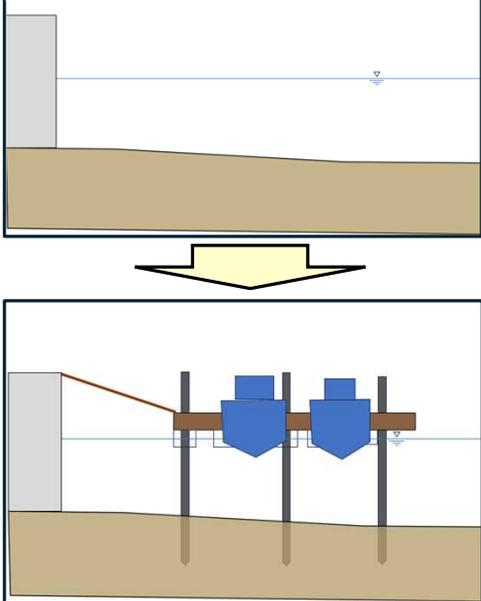
- ・プレジャーボート、スーパーヨットなど幅広く受け入れ
- ・収容隻数は「ケンチョピア係留数+放置艇等受入れ」
- ・係留施設と背後地にぎわい施設と連携

## スケジュール

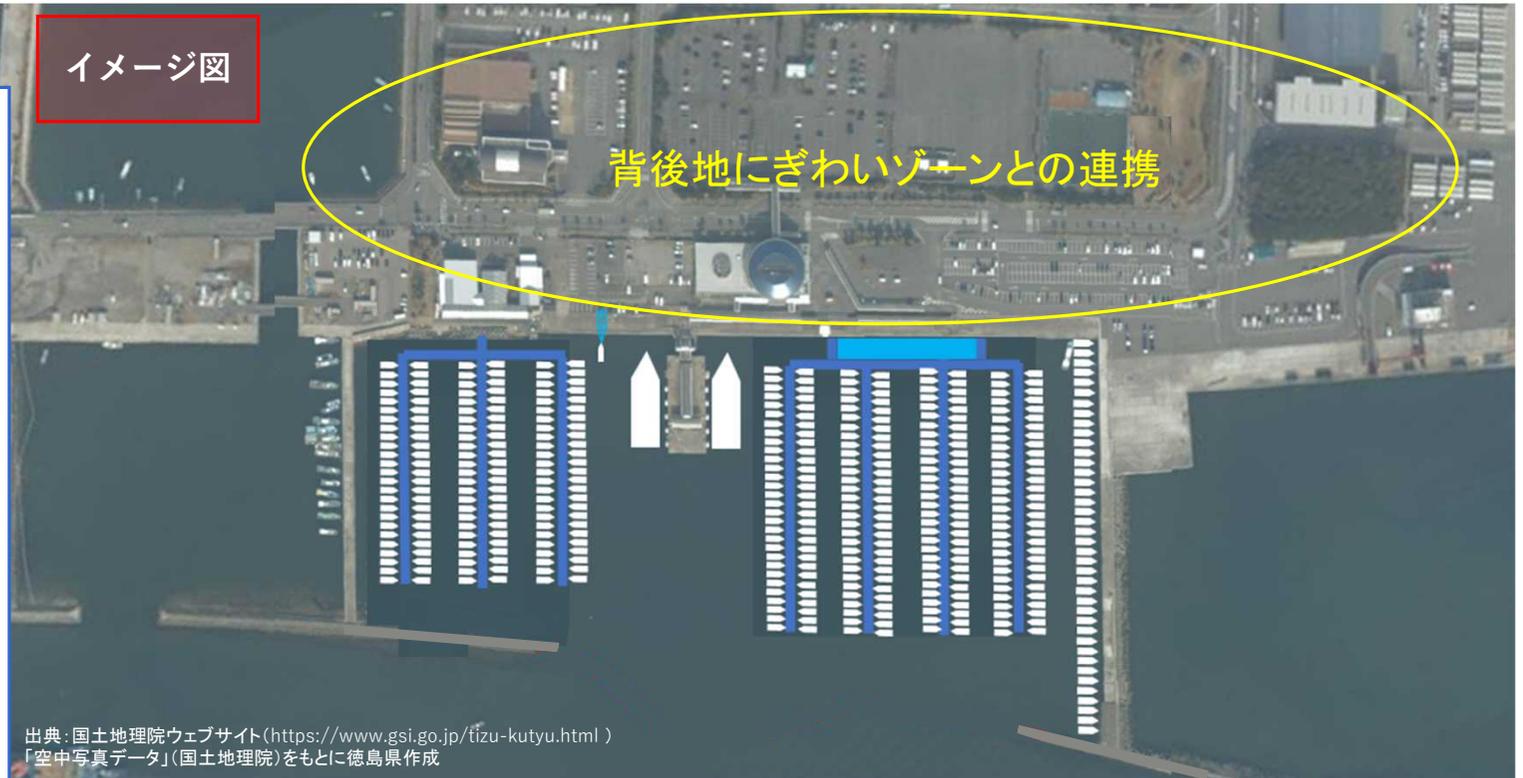
長期構想 ⇒ 港湾計画改訂 ⇒ 「係留施設」整備  
※整備には一定の期間を要する

## 係留施設イメージ

### 断面



### イメージ図



出典：国土地理院ウェブサイト(<https://www.gsi.go.jp/tizu-kutyu.html>)  
「空中写真データ」(国土地理院)をもとに徳島県作成

# 3-2. 「津田第2水面貯木場跡」の整備方針（案）

## 港湾計画図



## 整備方針

### ● マリンピア沖洲における係留施設が整備できるまでの「暫定的な係留施設」として早期整備

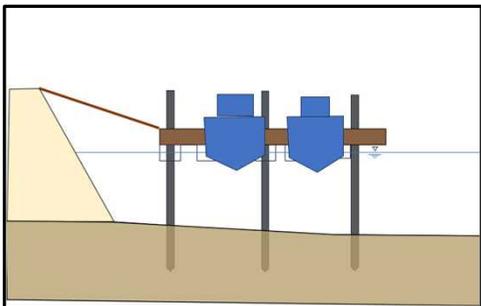
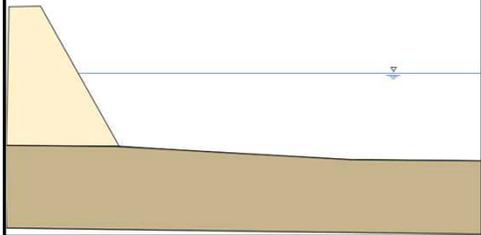
- ・ 中心市街地からの早期の船舶移動のため埋立て予定地を活用
- ・ 係留施設は浮棧橋形式、陸域施設としては駐車場、トイレ等整備検討
- ・ 収容隻数は「ケンチョピア係留数+放置艇等受入れ」  
(※状況に応じて増設)

## スケジュール

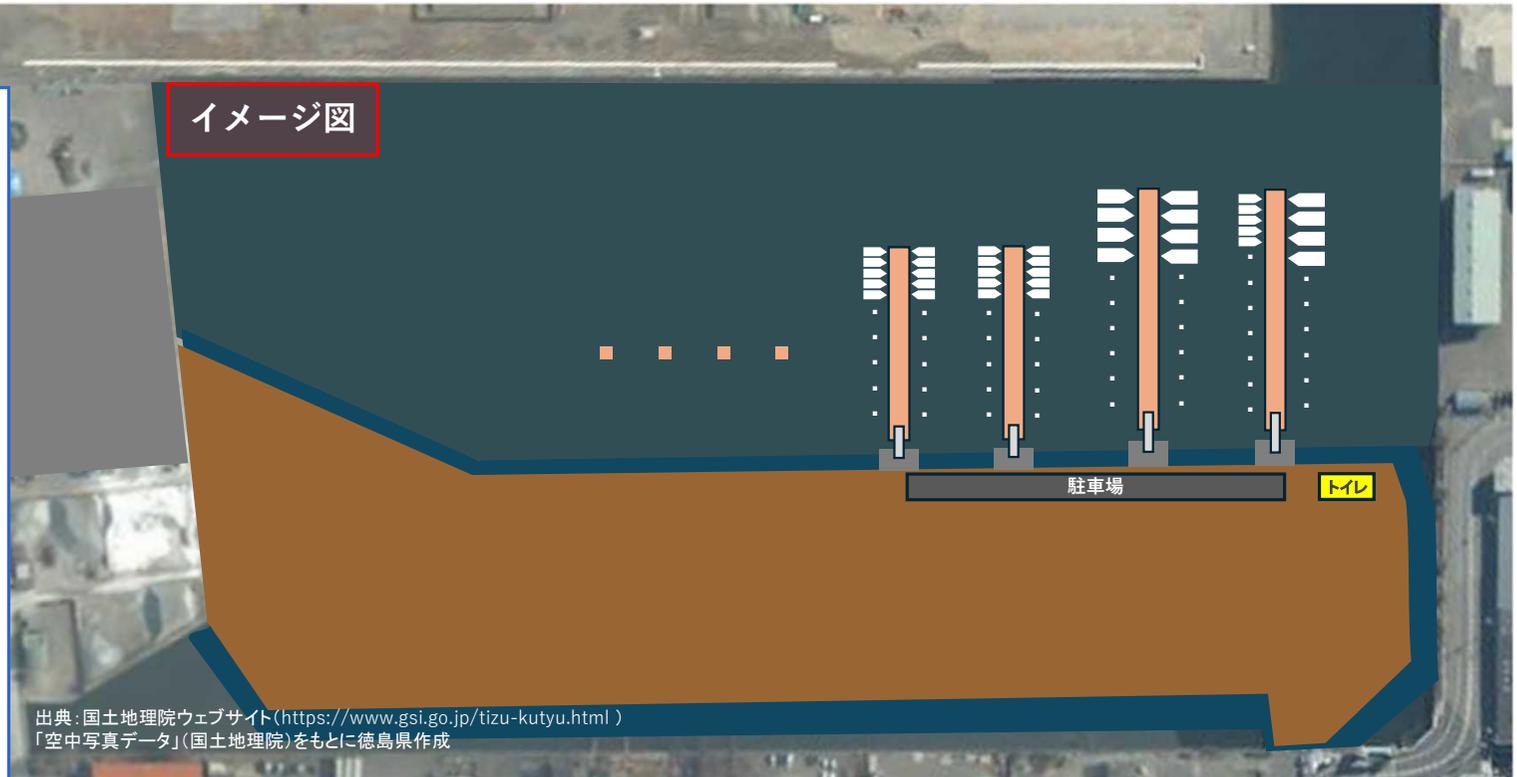
- ・ 速やかに設計後、工事着手

## 係留施設イメージ

### 断面



### イメージ図



出典：国土地理院ウェブサイト(<https://www.gsi.go.jp/tizu-kutyu.html>)  
「空中写真データ」(国土地理院)をもとに徳島県作成

# 3-2. 「津田第2水面貯木場跡」の整備方針（案）

## 施設について

### 係留施設

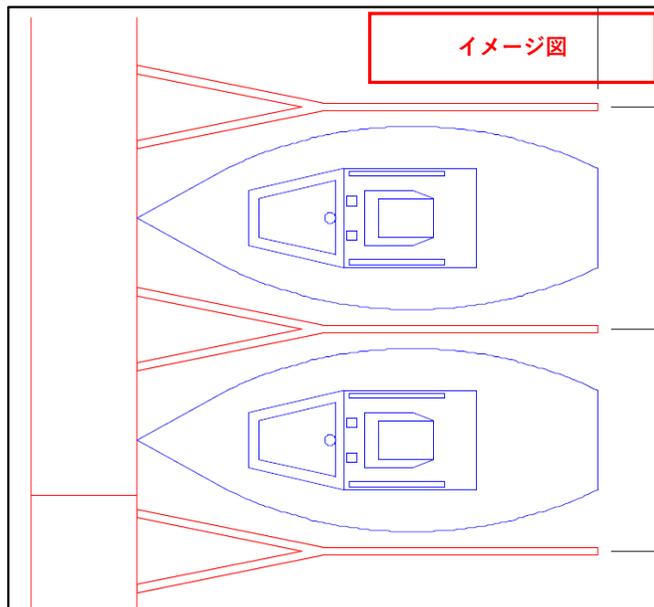
- ・係船方式としては、水面に箱状の浮体を浮かべ、連絡橋で陸岸と繋ぐ「浮棧橋方式」や岸壁にリング状の金具を付けて船を固定する「係船環方式」などがある
- ・「喫水・長さ・幅」など船舶の規格により、係留する区画を分ける
- ・収容隻数、周辺の地形状況、ニーズ等を勘案し、配置を検討

### その他施設

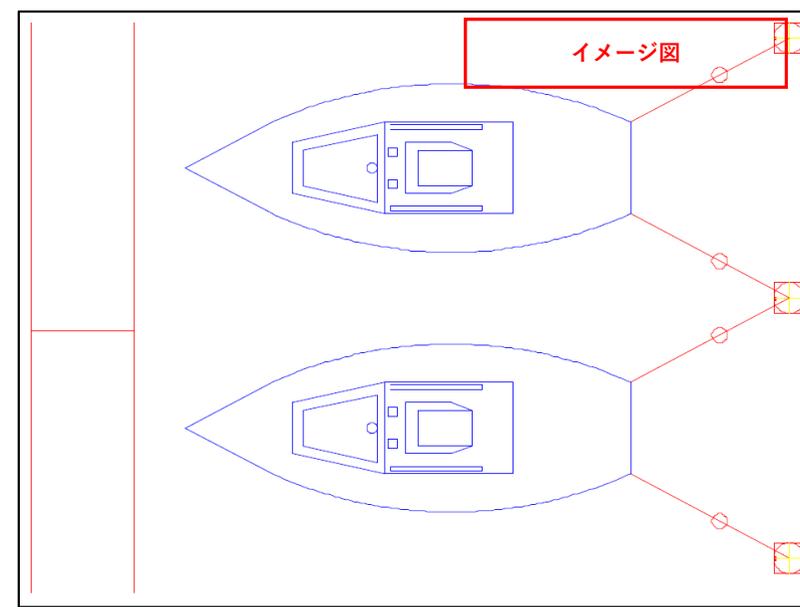
- ・駐車場、トイレを確保

## 浮棧橋方式

### 浮棧橋（ビーム）方式



### 浮棧橋（浮標）方式



# 3-3. 「万代中央ふ頭前水域」の整備方針（案）

## 整備方針

- ひょうたん島クルーズ乗降地等となる「浮棧橋」の整備
- 緑地整備と合わせた「ビジターバース」を計画

## スケジュール

- ・「浮棧橋」:速やかに設計後、工事着手
- ・「ビジターバース」:長期構想 ⇒ 港湾計画改訂 ⇒ 設計・整備

○緑地化のイメージ



浮棧橋更新イメージ

浮棧橋（箱型ボート）更新

水上タクシー

出典:国土地理院ウェブサイト(<https://www.gsi.go.jp/tizu-kutyu.html>)  
「空中写真データ」(国土地理院)をもとに徳島県作成

実証実験区間完成(R7.12)

緑地化実証実験(R8.1～)